

テーマ	セカンドレベル				
領域	認定看護管理者教育課程	会場	看護研修センター	受講料	会員 204,000 円 非会員 408,000 円
対象	受講条件 1. 日本国の看護師免許を有する者 2. 看護師免許取得後実務経験が通年 5 年以上ある者 3. ファーストレベルを修了している者、又は、看護部長の相当の職位にある者もしくは、副看護部長相当の職位に 1 年以上ついている者 募集数 30 人 応募数 19 人 受講者数 18 人 会員数 18 人 非会員 0				
日時	令和 5 年 5 月 17 日（水曜日）～ 7 月 20 日（木曜日）9：30～16：30（38 日間）				
目的（目標）	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を修得する。 1. 組織の理念と看護部の統合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成にむけた看護管理過程を展開できる。2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。				
講師	1. ヘルスケアシステム論Ⅱ角田由佳他 2. 組織管理論Ⅱ鈴木康美他 3. 人材管理Ⅱ大久保清子他 4. 質管理Ⅱ伊豆上智子他 5. 資源管理Ⅱ横井郁子他 6. 統合演習Ⅱ長谷川美津枝他				
内容・方法	内容：日本看護協会 認定看護管理者教育課程カリキュラム基準を基に作成【教科目及び時間数】 1. ヘルスケアシステム論Ⅱ15 時間 2. 組織管理論Ⅱ30 時間 3. 人材管理Ⅱ45 時間 4. 資源管理Ⅱ15 時間 5. 質管理Ⅱ30 時間 6. 統合演習Ⅱ45 時間（統合演習・改善計画 33 時間、実習 12 時間）実習は「看護をつなぐ」をテーマとし、1 日 6 時間、まとめを 1 日 3 時間で計画した。総合計 183 時間 ※特別講義 6 時間（小論文の書き方） 方法：講義と演習、原則集合研修とした。				
結果・評価（受講者の意見感想含む）	1. 評価方法：受講者アンケート（理解度、達成度）・修了者数 アンケート結果：回収率 100%、受講時より能力が向上した項目は 1. 問題解決 2. 人材育成 3. 組織管理及び改革 4. 病院・施設運営参画・病棟運営であった。自己の学習課題の達成度は十分できた、ほぼ達成できたが 94%、満足度は十分できた、ほぼ達成できたが 100%。理解度は、よく理解できた、理解できたが、各教科目平均 94%であった。修了者数：受講した 18 人全員が修了要件を満たし修了と判定された。 学び：知識は戦略になる。理念に基づく組織分析とマネジメント理論と思考過程、内部顧客をマネジメントする方法、変革する手段と文化も風土も看護師長で変わる事。情報・データを示す重要性。自分の言葉で伝える必要性。スタッフとの対話と巻き込む事の大切さ。理念に基づく組織分析とマネジメントの理論、思考過程が分かった等であった。今後の活用：患者やスタッフの思いを聞く、スタッフを承認する。話す機会を増やしお互いの相互理解に繋げる。ビジョンを明確に示す。自分の考えを自分の言葉で伝える。現状を分析、上司や部下を巻き込み変革していく等。感想：グループワークが多く意見が聞けて参考になった。とても楽しく貴重な時間、問題の本質にたどり着くまで大変であったが、じっくりと学ぶ機会は貴重であった等であった。以上より多くの気づきと学びに繋がっている。				
企画の評価【目的・目標・内容・プログラムの妥当性】	日本看護協会「認定看護管理者教育課程カリキュラム基準」に則り計画実施した。プログラム、内容は組織管理論から統合演習を最終とし、管理の基本的な知識の習得と具体に向け理解しやすいよう計画した。統合演習の見学実習では、訪問看護ステーションを主としたことにより、患者の情報を地域に繋ぐために受講者自身の課題と役割が明確になった。企画内容を通して看護管理過程、質管理の知識を習得し、自身を振り返り考え方に変化が見られた。自己の役割が明確になり今後の看護管理の展開に繋がる。内容・プログラムは妥当であり目的を達成できた。				
課題	現状の問題の分析に時間を要する。問題解決シートを検討				
担当者	専任教員				